

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社が 「第10回製品安全対策優良企業表彰」経済産業大臣賞を受賞

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社は、経済産業省の「製品安全対策優良企業表彰」大企業製造・輸入事業者部門において、最高賞の「経済産業大臣賞」を受賞いたしました。

■「製品安全対策優良企業表彰」とは

製品安全対策優良企業表彰（PS アワード）は、2007年（平成19年）に始まり、今回で10回目となりました。本表彰は、製品安全に積極的に取り組んでいる製造事業者、輸入事業者、小売販売事業者をそれぞれ企業単位で広く公募し、学識経験者・消費者団体代表等で構成する審査委員会による厳正な審査の上で、「製品安全対策優良企業」として表彰するものです。本表彰では、各企業が製造・輸入・販売している製品自体の安全性について評価するのではなく、企業全体の製品安全活動について評価します。本年度は、書類による一次審査（7月）、プレゼンテーションによる二次審査（9月）、委員による現地ヒアリング審査（10月）が実施され、10月の審査委員会において最終審査を行って受賞企業の決定がされました。

■受賞のポイント

●企画・設計段階におけるリスクアセスメントの適用推進

製品の企画・設計段階から製品の安全を確保するため、過去の不具合の要因を定量的に分析し、電源コードも含めた全ての製品を対象に、企画段階からリスクアセスメントを適用することで製品の安全性を向上している。さらに、リスクアセスメントの専門家の育成や認定する制度を構築し、海外も含めてリスクアセスメントについて社員への浸透・拡大と定着に取り組んでいる。

●品質評価技術の開発と社内技術標準化の取り組み

リスクアセスメント推進と連動し「リスクの見積・評価」および「妥当性検証」の質の向上を推進し、危

害の程度を定量的に見積もることで、リスクの正確な評価を実現している。人間工学の面からも安全性向上の研究を進め、人共存ロボットの開発や、バーチャル空間での評価技術の開発に取り組んでいる。

また、それらの技術を、国際規格への適合も考慮し、過去から蓄積された知見（過去不具合事例等）とともに社内技術標準化として取り組んでいる。

●不具合発生に対する事後の取り組み

製品事故が発生した場合は、発生した事故の規模に限らず、軽微な傷害でも原因究明の実施や再現実験での確認等技術的検証により、事故の発生メカニズムを分析し、最大危害と発生確率の予測から経年劣化も考慮したリスクの検証や、根本的対策を検討するとともに、市場対応の体制も整備することで、社会的影響度も配慮した市場対応にも早急に取り組んでいる。



表彰受賞式



製品安全対策優良企業ロゴマーク